

第46回

府中市市政世論調査

(概要版)



平成 26 年

府 中 市

< 目 次 >

府中市政世論調査について	1
回答者の属性	2
【住み心地】について	3
■府中市は住みよいところだと感じるか	3
【住まいの環境】について	4
■身近な住まいの環境についての率直な感想	4
【生活の満足度】について	5
■現在の生活にどの程度満足しているか	5
【定住意向】について	6
■今後も府中市に住み続けたいと思うか	6
【市政に対する関心度】について	7
■市政にどの程度関心を持っているか	7
【市への要望】について	8
■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと	8
【府中市市民協働に関する基本方針】について	10
■「協働」という言葉を知っているか	10
■「府中市市民協働の推進に関する基本方針」を知っているか	10
■協働によるまちづくり	11
■協働で実施する事業に参加したことがあるか	11
■協働によるまちづくりを進めるために、市が力を入れるべきこと	12
【文化センター圏域コミュニティ協議会】について	12
■文化センター圏域コミュニティ協議会を知っているか	12
■コミュニティ協議会の事業に参加したことがあるか	13
■コミュニティ協議会に期待すること	13
【男女共同参画社会について】について	14
■家庭における男女のあり方は、本来どのようにあるべきだと思うか	14
■あなたの家庭での男女の状況はどのようになっているか	14
■女性が職業を持つことについてどう思うか	15
■女性が職業を持ち続けていく上での障害	15
■「スクエア21・女性センター」を知っているか	16
■参加したい・利用したいと思う講座・セミナー等	16
■男女平等社会を実現させるために力を入れてほしいこと	17

【環境美化】について	18
■環境美化推進地区を知っているか	18
■喫煙禁止路線を知っているか	18
■府中市は環境美化の観点からきれいと思うか	19
■地域や市が開催する清掃活動に参加したことがあるか	19
【環境問題に対する取組み】について	20
■日常生活等における環境に関する取組み	20
【生物多様性地域戦略】について	21
■生物多様性を知っているか	21
■府中を代表する自然は何だと思うか	21
■生物多様性保全活動に参加したいか	22
■参加したい生物多様性保全活動	22
【保存樹木制度】について	23
■保存樹木制度を知っているか	23
■「保存樹木奨励金制度」の今後の進め方について	23
■自宅敷地内の緑化のために推進すべき施策	24

府中市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第 46 回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「府中市市民協働に関する基本方針」「文化センター圏域コミュニティ協議会」「男女共同参画社会」「環境美化」「環境問題に対する取組み」「生物多様性地域戦略」「保存樹木制度」についてお聞きしました。

本書は、調査結果の一部をまとめた概要版です。

ご協力いただきました市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

調査の方法

調査の地域 : 府中市全域

調査対象者 : 府中市在住の満 20 歳以上の男女

標本数 : 1,000 人

抽出方法 : 地点を用いた二段抽出法

(住民基本台帳の登録人口を 11 の文化センター地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法)

調査方法 : 面接聴取法

調査期間 : 平成 26 年 6 月 10 日(火)～平成 26 年 7 月 25 日(金)

有効回収数(率) : 844(84.4%)

調査の内容

〈第 46 回特設設問〉

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 住み心地 | 7. 府中市市民協働に関する基本方針 |
| 2. 住まいの環境 | 8. 文化センター圏域コミュニティ協議会 |
| 3. 生活の満足度 | 9. 男女共同参画社会 |
| 4. 定住意向 | 10. 環境美化 |
| 5. 市政に関する関心度 | 11. 環境問題に対する取組み |
| 6. 市への要望 | 12. 生物多様性地域戦略 |
| | 13. 保存樹木制度 |

注意事項

本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

(1) 百分率(%)の計算は、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答(1 つだけ選ぶ設問)に表示された百分率を足し合わせても 100%にならない場合があります。また、複数回答(2 つ以上選んでよい設問)の設問の場合、百分率を足し合わせると 100%を超える場合があります。

(2) 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

回答者の属性

有効回答数844件の属性別回答者数と構成比を表します。

〔性別〕

	回答者数	構成比(%)
1. 男性	358	42.4
2. 女性	486	57.6
(無回答)	0	0.0

〔職業〕

	回答者数	構成比(%)
1. 事務職	88	10.4
2. 専門・技術職	154	18.2
3. 労務・サービス職	69	8.2
4. 役員・管理職	38	4.5
5. 商・工・サービス業	30	3.6
6. 自由業	21	2.5
7. 農林漁業	2	0.2
8. 内職・パート・フリーター	103	12.2
9. 主婦(家事専業)	190	22.5
10. 学生	15	1.8
11. 無職	122	14.5
(無回答)	12	1.4

〔未婚・既婚〕

	回答者数	構成比(%)
1. 未婚	183	21.7
2. 既婚(離別・死別含む)	648	76.8
(無回答)	13	1.5

〔ライフステージ〕

	回答者数	構成比(%)
独身期	113	13.4
家族形成期	96	11.4
家族成長前期	95	11.3
家族成長後期・家族成熟期	124	14.7
高齢期	76	9.0
高齢者世帯	158	18.7
その他	158	18.7
(無回答)	24	2.8

〔年齢〕

	回答者数	構成比(%)
1. 20～29歳	78	9.2
2. 30～39歳	161	19.1
3. 40～49歳	192	22.7
4. 50～59歳	111	13.2
5. 60～69歳	144	17.1
6. 70歳以上	158	18.7
(無回答)	0	0.0

〔地区〕

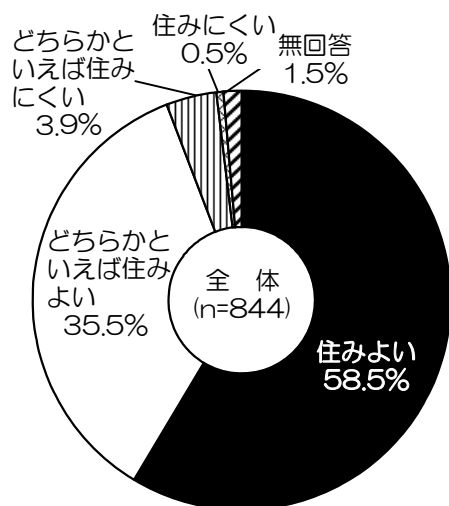
	総人口	対象者数	調査数	回答率(%)	回答者数	構成比(%)
紅葉丘文化センター地区	21,948	17,290	80	77.5	62	7.3
白糸台文化センター地区	29,199	23,881	120	81.7	98	11.6
押立文化センター地区	8,194	6,520	30	76.7	23	2.7
是政文化センター地区	24,679	19,579	100	77.0	77	9.1
住吉文化センター地区	26,565	21,178	100	90.0	90	10.7
片町文化センター地区	29,015	24,226	120	79.2	95	11.3
中央文化センター地区	39,377	32,337	160	90.6	145	17.2
新町文化センター地区	27,065	21,654	110	88.2	97	11.5
武蔵台文化センター地区	15,622	12,837	60	88.3	53	6.3
西府文化センター地区	18,090	14,176	70	90.0	63	7.5
四谷文化センター地区	13,183	10,183	50	82.0	41	4.9
合 計	252,937	203,861	1,000	84.4	844	100.0

※上記対象者数は、平成26年4月1日現在の満20歳以上の人口である。

【住み心地】について

■府中市は住みよいところだと感じるか (n=844)

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、9割半ばが『府中市は住みよい』と感じている。



「住みよい」(58.5%)、「どちらかといえば住みよい」(35.5%)を合わせた『住みよいと感じる』割合は、9割半ば(94.0%)にのぼる。

また、「住みにくい」(0.5%)、「どちらかといえば住みにくい」(3.9%)を合わせた『住みにくいと感じる』割合は4.4%にとどまっている。

図1 住み心地

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じる割合』は年代別では、「40歳代」(95.9%)が最も高く、「20歳代」(87.2%)が最も低い。

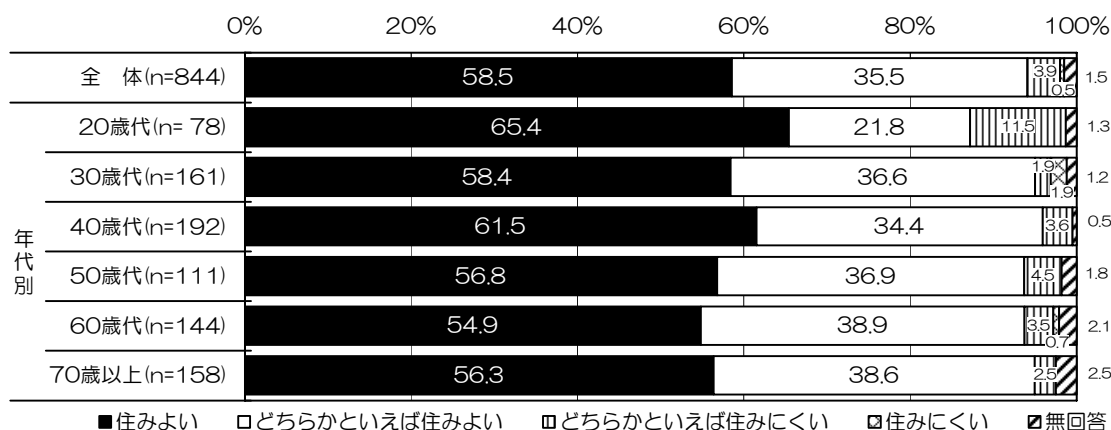


図2 住み心地(年代別)

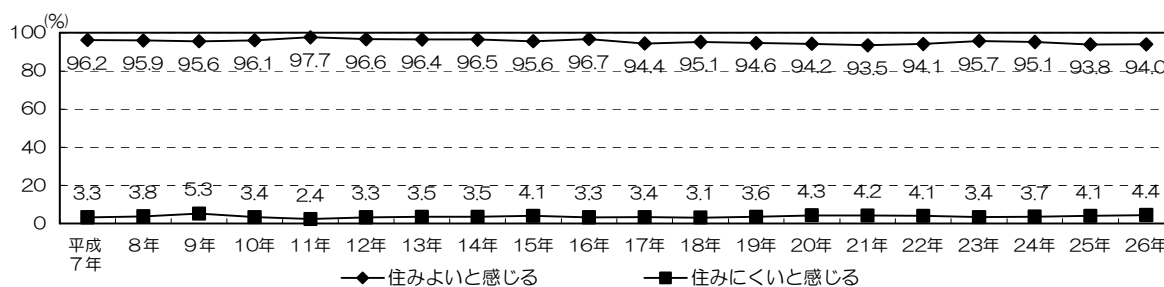


図3 経年別推移

【住まいの環境】について

■身近な住まいの環境についての率直な感想（n=844）

「緑の豊かさ」「排水の便」「風通し、日当たり」「交通の便」「日常の買い物の便」については7割以上が『非常によい』『まあよい』と感じている。また、『あまりよくない』『非常に悪い』と感じる割合が高いのは、「騒音や振動の防止」「蚊やハエの発生の防止」「日常の買い物の便」「交通安全対策」「医療施設」の順になっている。

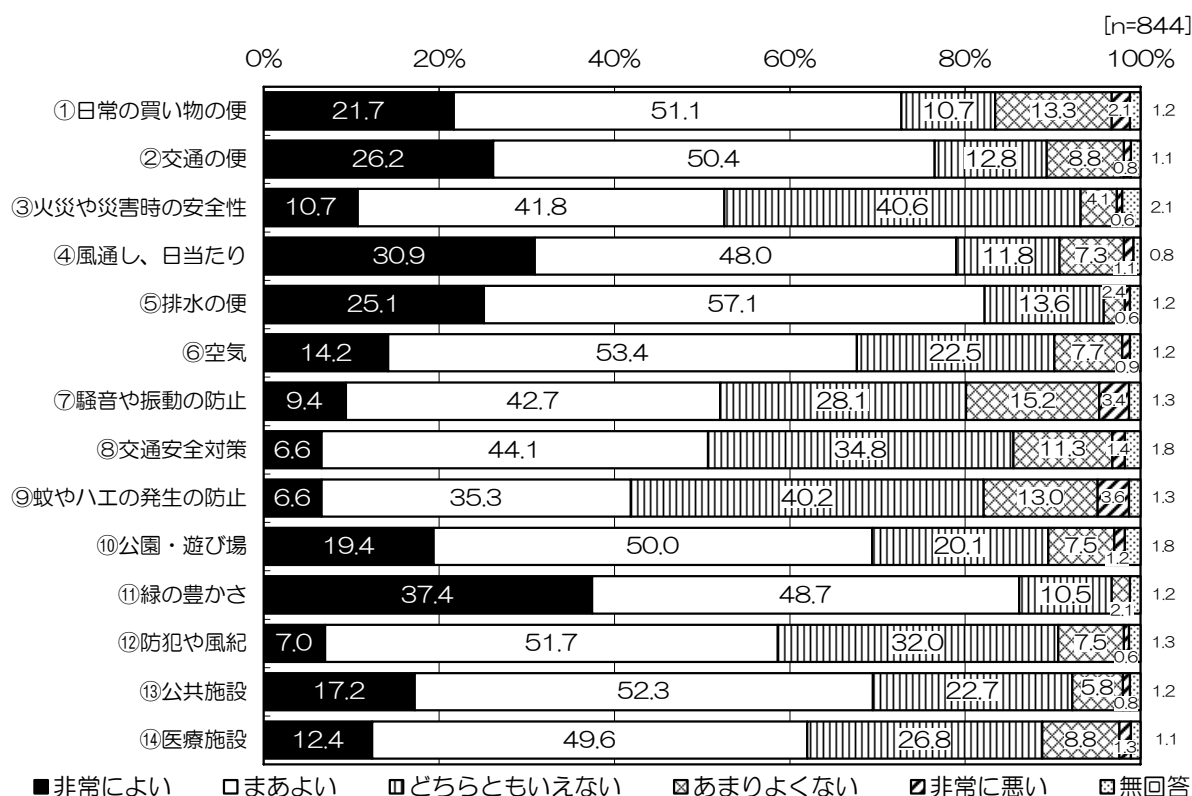


図4 身近な住まいの環境についての感想

[n=844]

順位	項目	非常によい まあよい (%)
1位	⑪緑の豊かさ	86.1
2位	⑤排水の便	82.2
3位	④風通し、日当たり	78.9
4位	②交通の便	76.6
5位	①日常の買い物の便	72.8
6位	⑬公共施設	69.5
7位	⑩公園・遊び場	69.4
8位	⑥空気	67.6
9位	⑭医療施設	62.0
10位	⑫防犯や風紀	58.7
11位	③火災や災害時の安全性	52.5
12位	⑦騒音や振動の防止	52.1
13位	⑧交通安全対策	50.7
14位	⑨蚊やハエの発生の防止	41.9

表1 『よい』と感じる割合の順

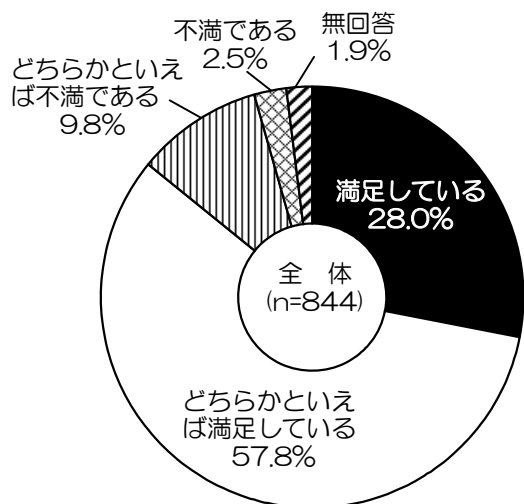
順位	項目	あまりよくない または 非常に悪い (%)
1位	⑦騒音や振動の防止	18.6
2位	⑨蚊やハエの発生の防止	16.6
3位	①日常の買い物の便	15.4
4位	⑧交通安全対策	12.7
5位	⑭医療施設	10.1
6位	②交通の便	9.6
7位	⑩公園・遊び場	8.7
8位	⑥空気	8.6
9位	④風通し、日当たり	8.4
10位	⑫防犯や風紀	8.1
11位	⑬公共施設	6.6
12位	③火災や災害時の安全性	4.7
13位	⑤排水の便	3.0
14位	⑪緑の豊かさ	2.1

表2 『悪い』と感じる割合の順

【生活の満足度】について

■現在の生活にどの程度満足しているか (n=844)

「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、8 割半ばが『生活に満足している』と感じている。

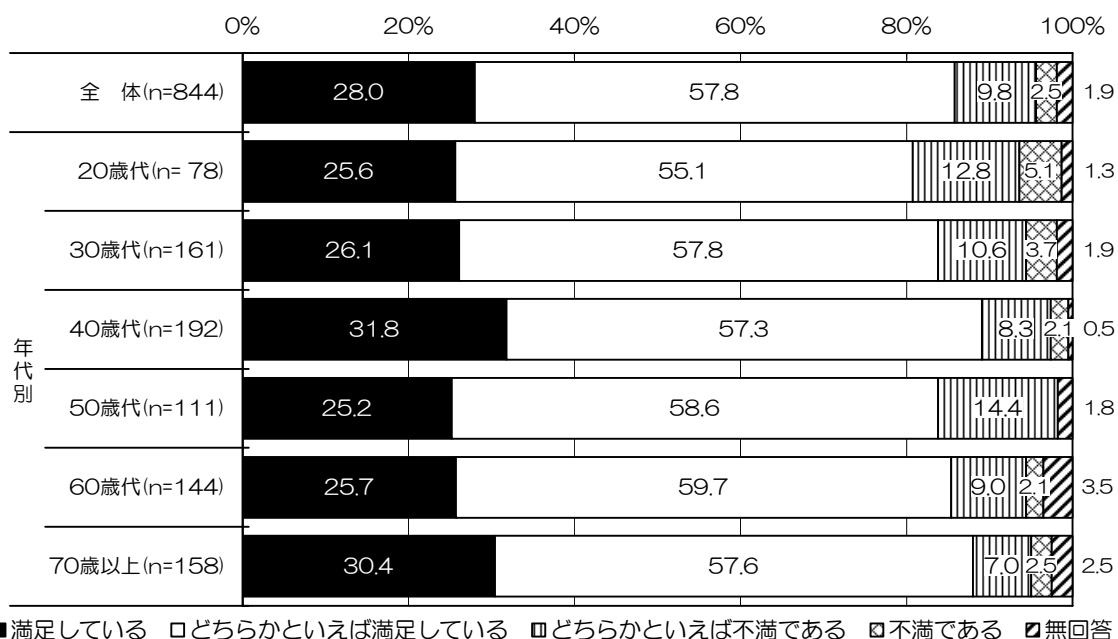


「満足している」(28.0%)、「どちらかといえば満足している」(57.8%)を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、8 割半ば(85.8%)を占める。

また、「不満である」(2.5%)、「どちらかといえば不満である」(9.8%)を合わせた『生活に不満を感じる』割合は、1 割程度(12.3%)にすぎない。

図5 生活の満足度

年代別では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、「40歳代」(89.1%)が最も高く、「20 歳代」(80.7%)が最も低い。



■満足している □どちらかといえば満足している ▨どちらかといえば不満である ▩不満である ▩無回答

図6 生活の満足度(年代別)

【定住意向】について

■今後も府中市に住み続けたいと思うか (n=844)

「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」を合わせると、9割半ばが『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。

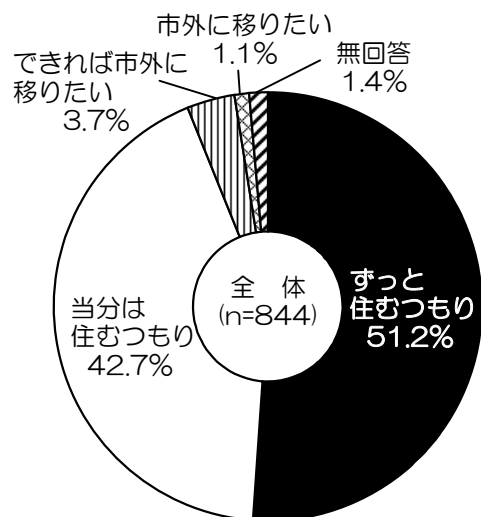


図7 定住意向

「ずっと住むつもり」(51.2%)、「当分は住むつもり」(42.7%)を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、9割半ば(93.9%)を占める。

また、「市外に移りたい」(1.1%)、「できれば市外に移りたい」(3.7%)を合わせた『市外に移りたいと感じている』割合は、4.8%である。

年代別では、「ずっと住むつもり」と「当分はずっと住むつもり」を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、「70歳以上」(97.4%)が最も高く、「20歳代」(87.2%)が最も低い。

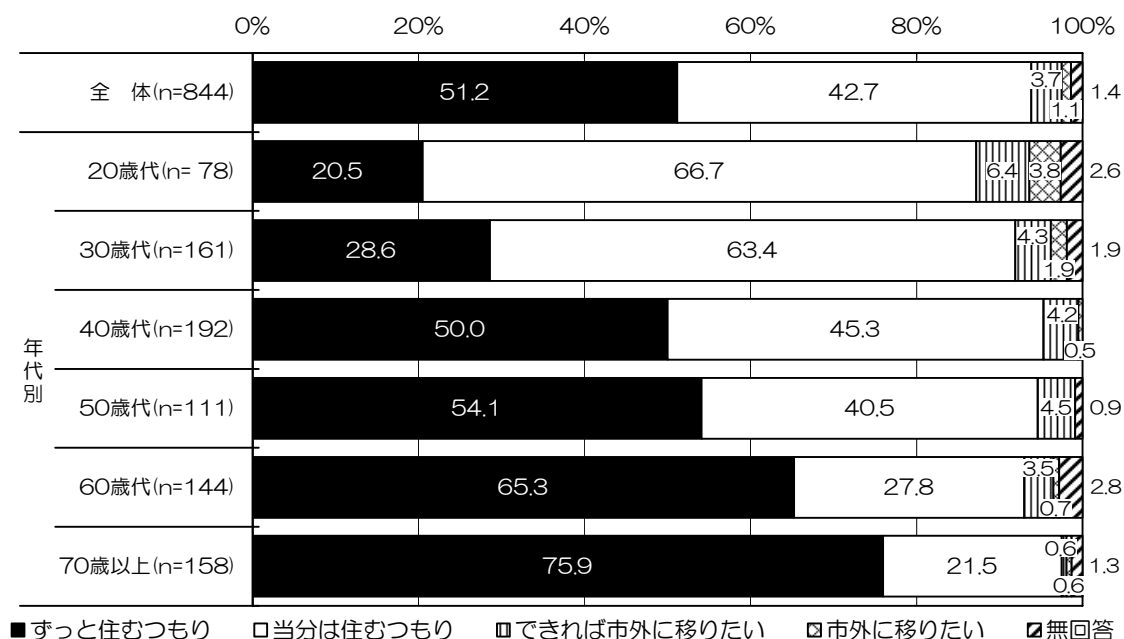
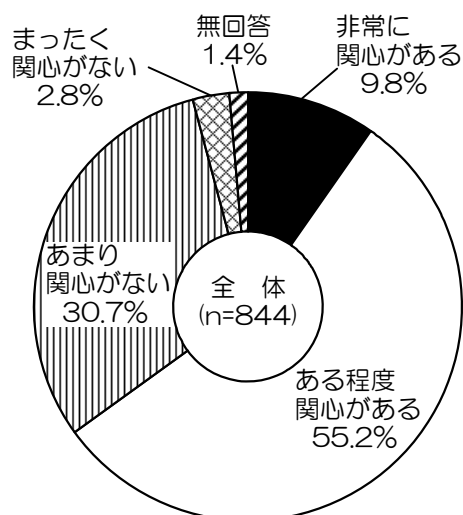


図8 定住意向(年代別)

【市政に対する関心度】について

■市政にどの程度関心を持っているか (n=844)

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせると、6割半ばが市政に関心を持っている。



「非常に関心がある」(9.8%)、「ある程度関心がある」(55.2%)を合わせた『市政に関心がある』割合は65.0%で、6割半ばが市政に関心を持っている。

一方、『市政に関心がない』割合は、「まったく関心がない」(2.8%)、「あまり関心がない」(30.7%)を合わせた33.5%である。

図9 市政に対する関心度

年代別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「70歳以上」(84.8%)が最も高く、「20歳代」(37.2%)が最も低い。

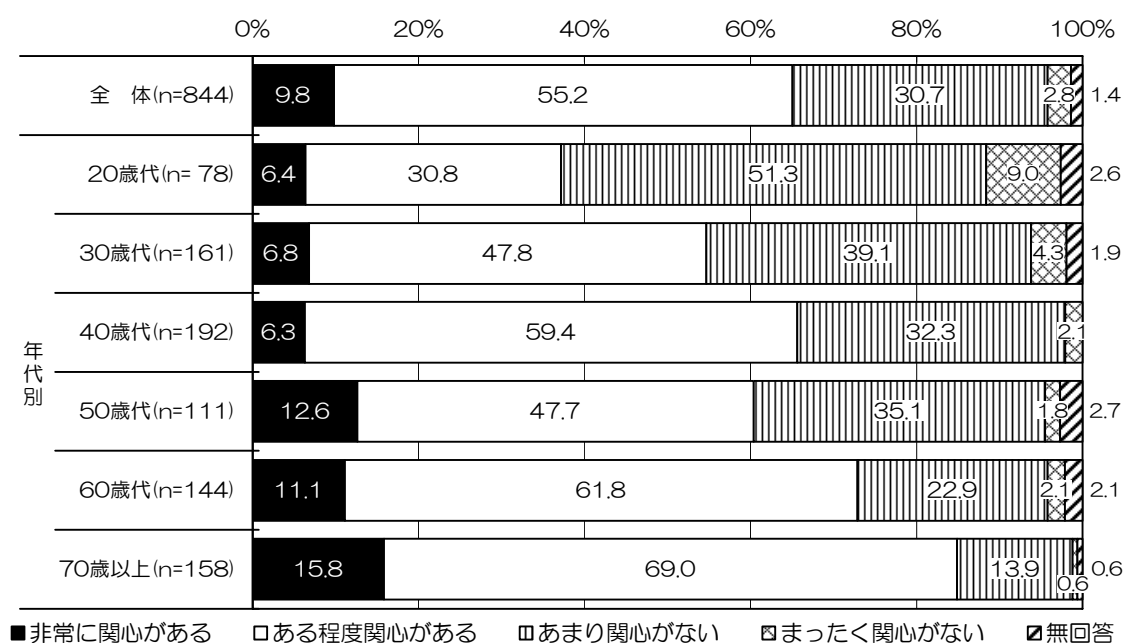


図10 市政に対する関心度(年代別)

【市への要望】について

■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと（n=844：複数回答）

市への要望として、「高齢者福祉対策」(41.6%)が最も高く、次いで「防犯・風紀対策」(29.1%)、「市民の健康管理対策」(18.5%)、「清掃・環境整備対策」(16.1%)、「保育行政の充実」(14.3%)の順になっている。

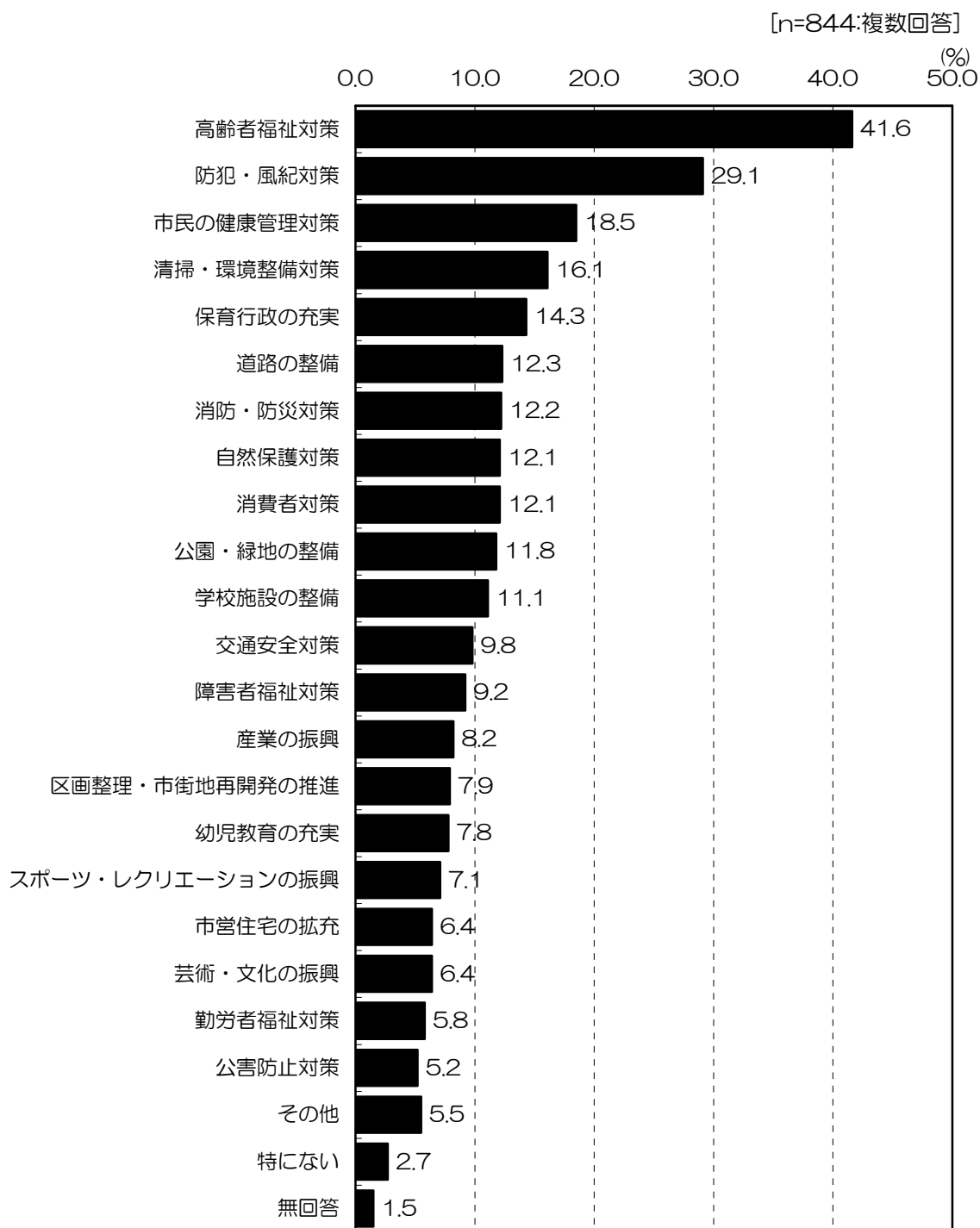


図11 市への要望

上位5項目について平成17年度からの順位変動を見ると、今年度1位の「高齢者福祉対策」は、平成17年度を除くと常に1位となっている。2位の「防犯・風紀対策」は、常に3位以内に入っている。3位の「市民の健康管理対策」は、常に4位以内に入っている。4位の「清掃・環境整備対策」は、平成24年度以外は上位5項目に入っている。5位の「保育行政の充実」は、平成17年度以降では初めて上位5項目に入った。

	n	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年	844	高齢者福祉対策 41.6%	防犯・風紀対策 29.1%	市民の健康管理対策 18.5%	清掃・環境整備対策 16.1%	保育行政の充実 14.3%
25年	836	高齢者福祉対策 38.2%	防犯・風紀対策 24.5%	清掃・環境整備対策 18.7%	市民の健康管理対策 17.5%	消防・防災対策 14.2%
24年	846	高齢者福祉対策 35.6%	防犯・風紀対策 28.1%	市民の健康管理対策 17.8%	交通安全対策 17.3%	消防・防災対策 15.2%
23年	835	高齢者福祉対策 34.4%	防犯・風紀対策 26.7%	清掃・環境整備対策 18.1%	市民の健康管理対策 17.0%	消防・防災対策 16.4%
22年	889	高齢者福祉対策 43.5%	市民の健康管理対策 27.0%	防犯・風紀対策 21.9%	清掃・環境整備対策 19.6%	自然保護対策 消費者対策 15.7%
21年	881	高齢者福祉対策 42.0%	防犯・風紀対策 27.0%	清掃・環境整備対策 26.6%	市民の健康管理対策 20.0%	消費者対策 16.1%
20年	889	高齢者福祉対策 42.2%	防犯・風紀対策 30.6%	清掃・環境整備対策 25.8%	市民の健康管理対策 18.3%	消費者対策 15.3%
19年	892	高齢者福祉対策 41.8%	清掃・環境整備対策 32.0%	防犯・風紀対策 31.8%	市民の健康管理対策 16.1%	消費者対策 12.4%
18年	882	高齢者福祉対策 42.7%	防犯・風紀対策 34.5%	清掃・環境整備対策 17.6%	市民の健康管理対策 14.5%	自然保護対策 13.5%
17年	851	防犯・風紀対策 42.1%	高齢者福祉対策 38.1%	清掃・環境整備対策 17.3%	市民の健康管理対策 15.7%	道路の整備 13.2%

表3 経年推移（上位5位）

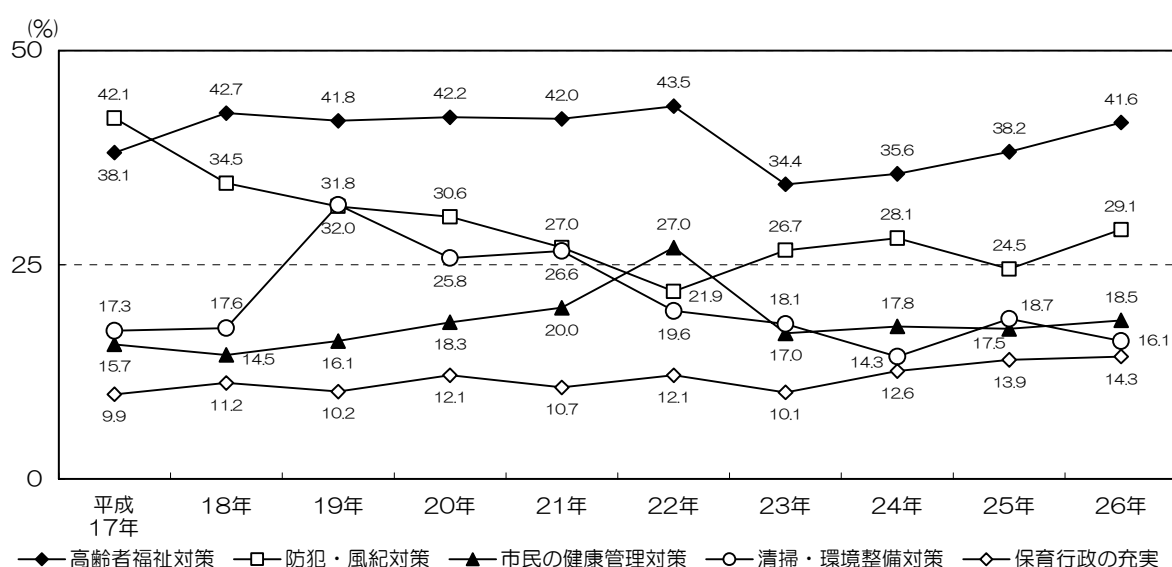


図12 経年推移(上位5位)

【府中市市民協働に関する基本方針】について

■「協働」という言葉を知っているか (n=844)

「協働」という言葉について、「知らない」(58.4%)が6割近くを占めている。一方、「よく知っている」(9.6%)は1割に満たない。

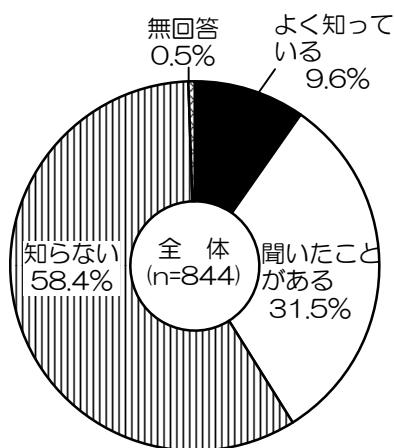


図13 「協働」という言葉を知っているか

■「府中市市民協働の推進に関する基本方針」を知っているか (n=844)

「府中市市民協働の推進に関する基本方針」を、「知らない」(77.0%)が8割近くを占めている。一方、「知っているが、内容は理解していない」(18.4%)、「知っているし、内容もある程度理解している」(3.0%)の、『知っている』割合は低い。「基本方針」を知り得た方法として、8割半ばの人が「広報ふちゅう」(86.7%)を挙げている。

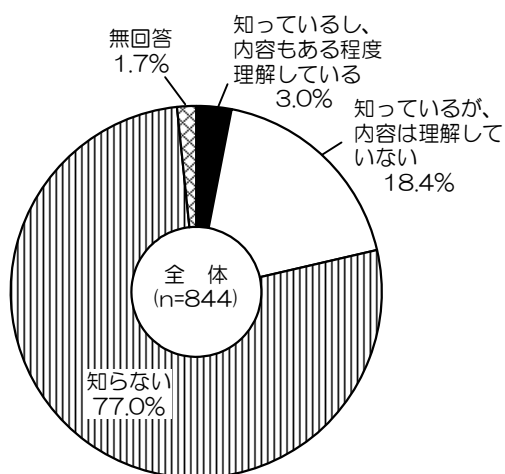


図14 基本方針を知っているか

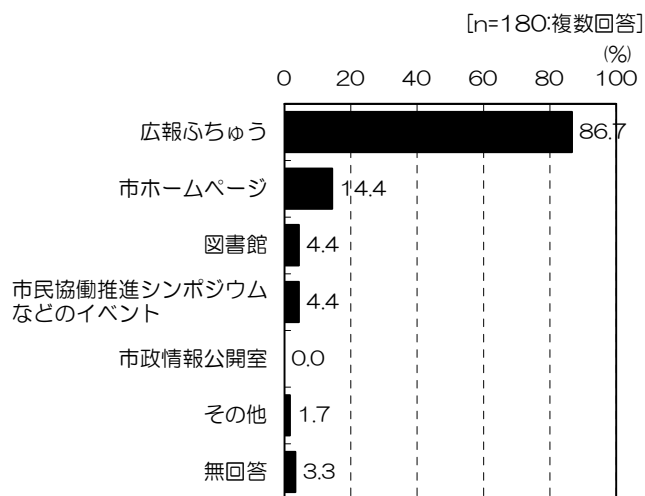


図15 基本方針を知り得た方法

■協働によるまちづくり (n=844)

協働によるまちづくりに対する考えは、「今後、充実していくことが望ましい」(42.4%)が4割を超えている。次いで、「協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」(38.7%)、「協働は必要だが、まちづくりは行政主導で進めることが望ましい」(7.3%)、「協働には手間や時間がかかると思うので、あまりやりたくない」(3.7%)となっている。

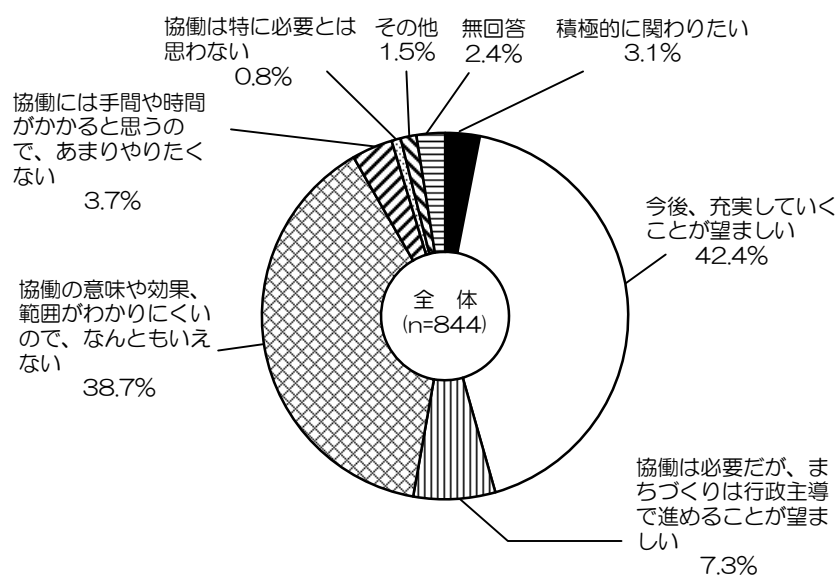


図16 協働によるまちづくり

■協働で実施する事業に参加したことがあるか (n=844)

協働で実施する事業への参加は、「参加したことはない」(62.9%)が6割を超えて最も高い。次いで、「参加したことがある」(33.4%)、「参加したこともあるし、運営スタッフとして参加したこともある」(3.0%)となっている。

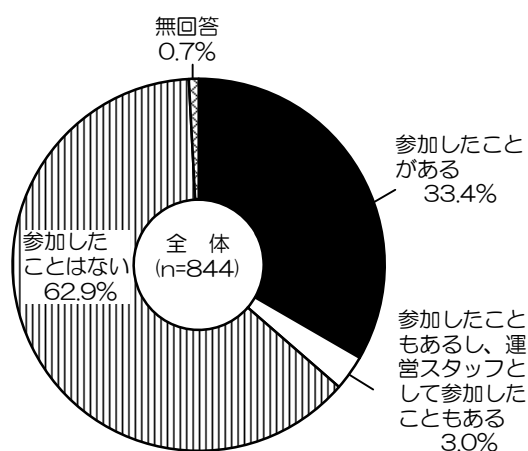


図17 協働で実施する事業への参加

■協働によるまちづくりを進めるために、市が力を入れるべきこと（n=844）

協働によるまちづくりに、市が力を入れるべきことは、「市民、団体等の活動に役立つ様々な情報を公開・提供する」（34.0%）が最も高い。次いで、「市民、団体等が、市の施策やまちづくりに関われる仕組みをつくる」（25.9%）、「様々な団体間の交流ができる「場」や「機会」を設ける」（17.3%）となっている。

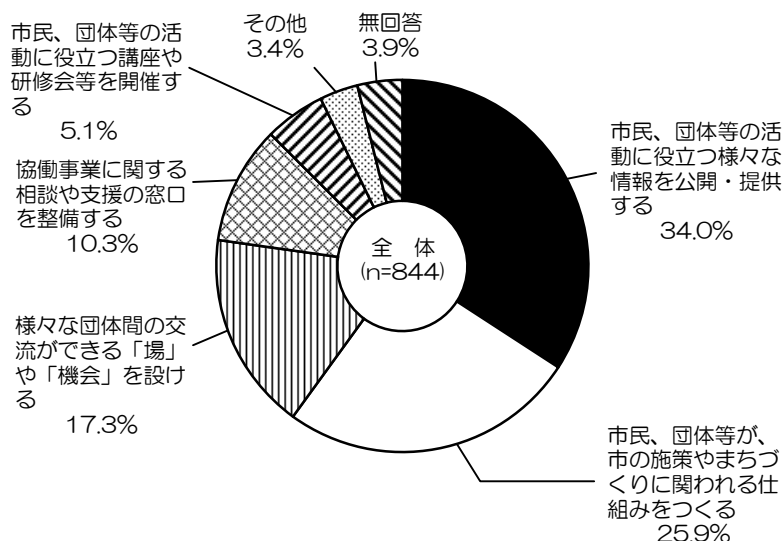


図18 協働によるまちづくりに、市が力を入れるべきこと

【文化センター圏域コミュニティ協議会】について

■文化センター圏域コミュニティ協議会を知っているか（n=844）

文化センター圏域コミュニティ協議会を知っているかについて、「知らない」（52.8%）が半数を超えている。一方、「知っている」（23.9%）は2割半ばとなっている。

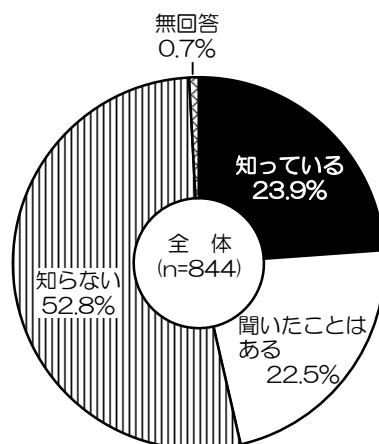


図19 コミュニティ協議会を知っているか

■コミュニティ協議会の事業に参加したことがあるか（n=844）

コミュニティ協議会の事業への参加は、「参加したことがない」（63.3%）が6割を超えて最も高い。一方、「年に数回程度参加している」（30.9%）、「ほぼ毎回参加している」（3.9%）を合わせた『参加したことがある』割合は3割半ばにとどまっている。

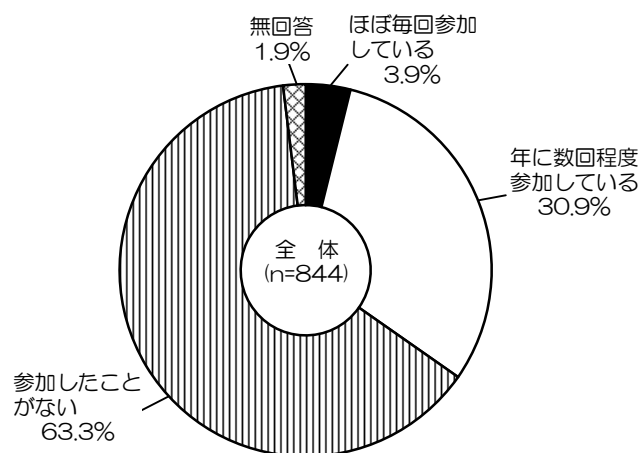


図20 コミュニティ協議会の事業への参加

■コミュニティ協議会に期待すること（n=844：複数回答）

コミュニティ協議会に期待することは、「地震などの自然災害に対する自主防災活動」と「地域の高齢者・障害のある方などの見守り活動」（46.2%）が最も高い。次いで、「パトロールなどの地域の安全・防犯活動」（45.9%）、「地域の児童・生徒の見守り活動」（45.0%）が4割半ばで高い。

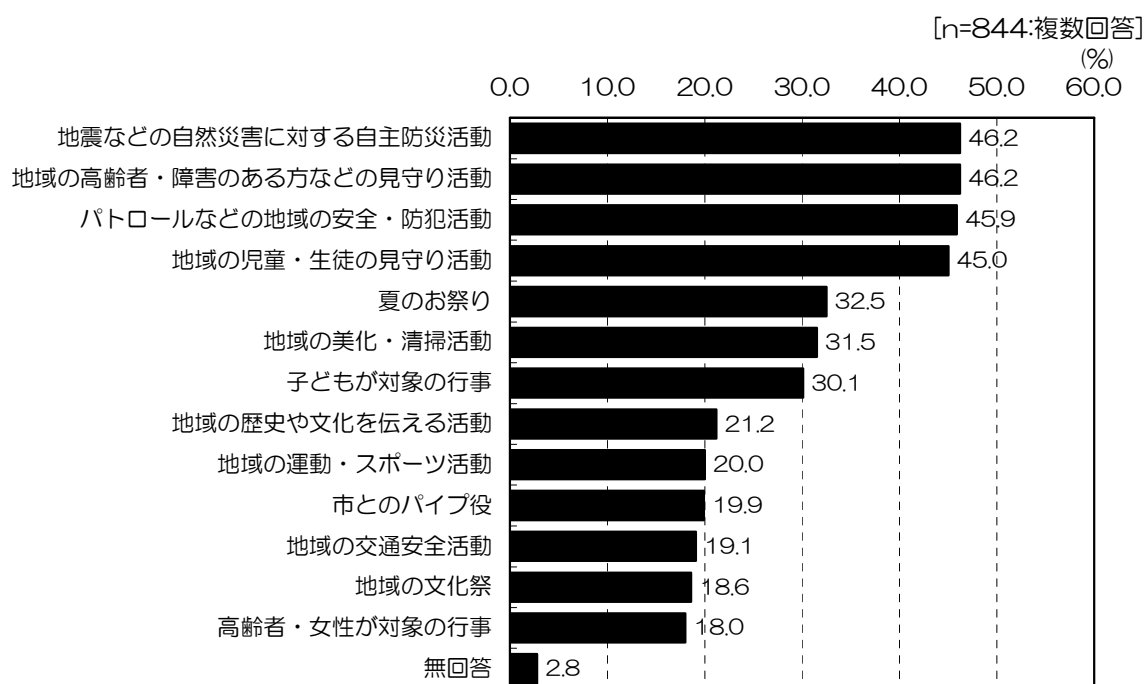


図21 コミュニティ協議会に期待すること

【男女共同参画社会】について

■家庭における男女のあり方は、本来どのようにあるべきだと思うか (n=844)

家庭における男女のあり方は、「男女とも仕事をし、家事・育児もする」(63.0%)が6割以上を占め最も高い。次いで、「特に考えはない」(16.5%)、「男性は仕事、女性には家事・育児をする」(11.4%)の順になっている。

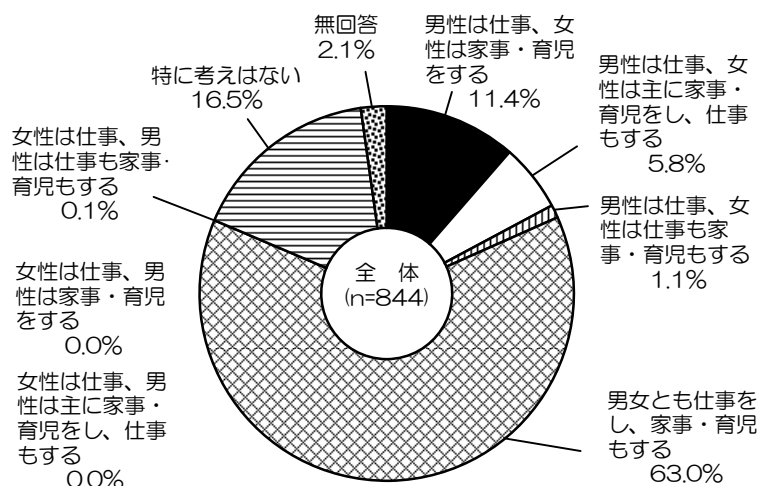


図2-2 家庭における男女のあり方

■あなたの家庭での男女の状況はどのようになっているか (n=844)

実際の家庭内の男女の状況は、その他(主に同性のみ、ひとり暮らし、高齢者世帯)を除くと「男性は仕事、女性には家事・育児をしている」(31.5%)が最も高く、次いで、「男女とも仕事をし、家事・育児もしている」(20.0%)、「男性は仕事、女性には仕事も家事・育児もしている」(10.0%)の順に高くなっている。

「男性は仕事、女性には家事・育児をしている」、「男性は仕事、女性には主に家事・育児をし、仕事もしている」、「男性は仕事、女性には仕事も家事・育児もしている」を合わせた『男性が仕事のみをしている家庭』が約半数となっている。一方、『男女とも仕事をし、家事・育児もしている家庭』は2割にとどまっている。

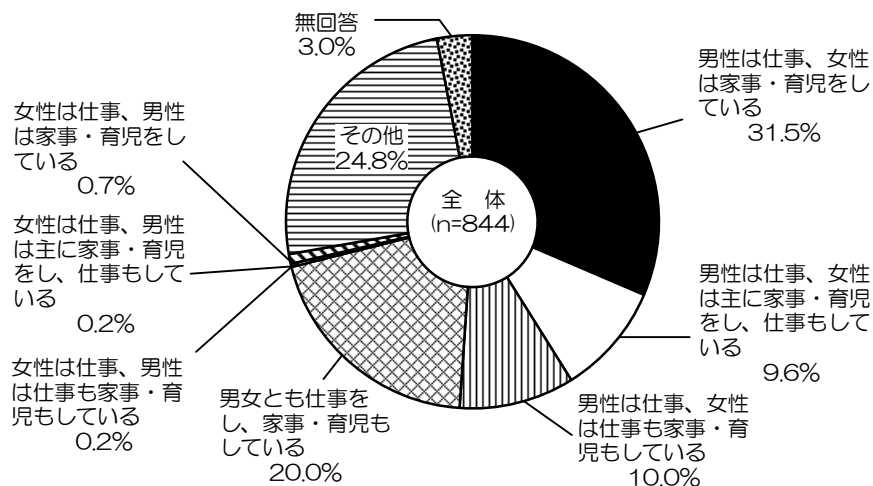


図2-3 あなたの家庭における男女の状況

■女性が職業を持つことについてどう思うか（n=844）

女性が職業を持つことへの考えについては、「子どもが生まれたらいったん職を辞め、子どもが成長したら再び職に就くのがよい」（41.7%）が最も高く、次いで「結婚して子どもができて、職業を持続けるのがよい」（33.2%）、「特に考えはない」（13.6%）の順になっている。

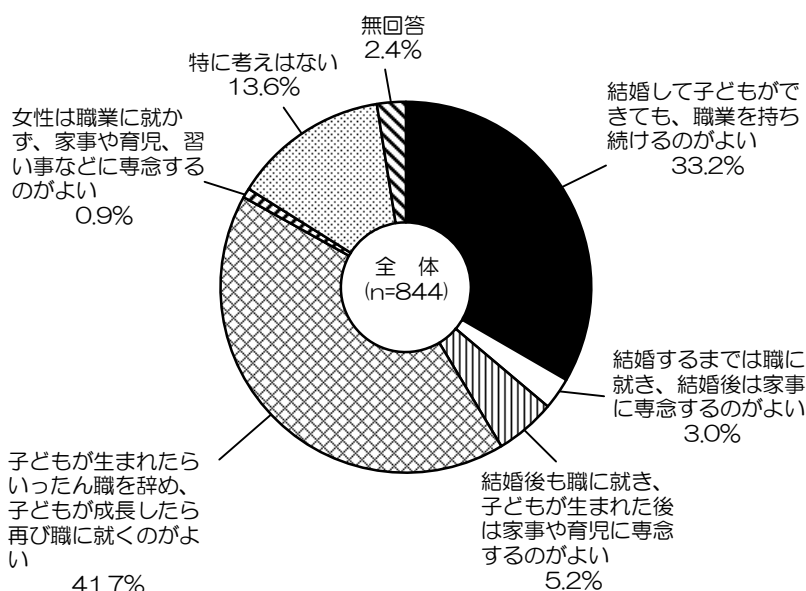


図24 女性が職業を持つことについて

■女性が職業を持ち続けていく上での障害（n=844）

女性が職業を持ち続けていく上での障害については、「家事・育児の両立が難しい」（38.7%）が最も高い。次いで、「子どもを預ける施設の数やサービスが不足している」（25.7%）、「高齢者や病人介護がある」（8.6%）の順になっている。

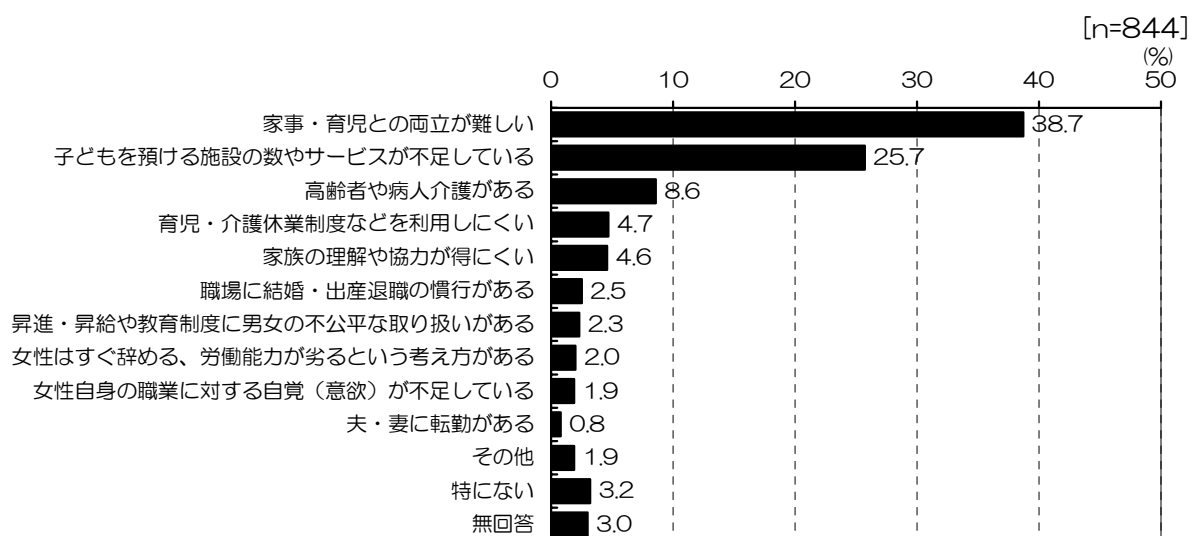


図25 女性が職業を持ち続けていく上での障害

■「スクエア21・女性センター」を知っているか（n=844）

「スクエア21・女性センター」について、「施設を利用したことがある」（10.4%）は1割程度となっている。一方、「施設があることを知らなかった」（45.7%）が4割半ばを占めている。

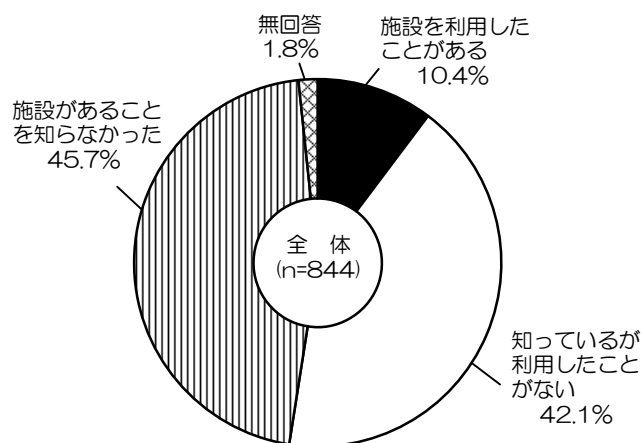


図26 「スクエア21・女性センター」を知っているか

■参加したい・利用したいと思う講座・セミナー等（n=844：複数回答）

「スクエア21・女性センター」の活動で、参加・利用したいと思うものは、「働く権利の保障と環境の整備を啓発する事業（パソコン講座、起業セミナー、再就職支援講座など）」（32.9%）が最も高く、次いで「男女共同参画を目標とした事業（市政に女性の意見を反映するための知識を得る講座、男性のための料理講座など）」（22.6%）、「相談事業（女性問題相談、青少年子ども相談、消費生活相談など）」（18.2%）の順になっている。

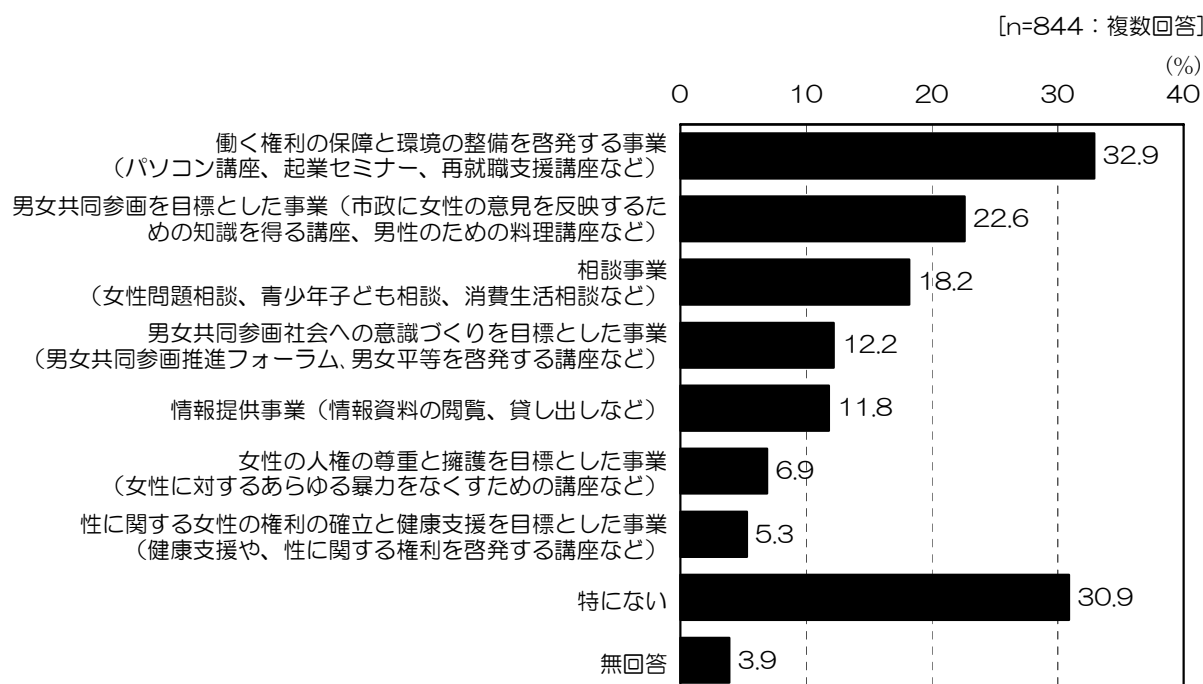


図27 参加したい・利用したいと思う講座・セミナー等

■男女平等社会を実現させるために力を入れてほしいこと（n=844：複数回答）

男女共同参画社会の実現のために力を入れてほしいことは、「男女ともにライフスタイルやライフステージに応じて柔軟な働き方を選択できる環境を整備する」（60.2％）が最も高く、次いで「保育や高齢者・病人介護の施設やサービスを充実する」（53.9％）「女性の就労機会を増やすことや、職業教育・訓練を充実する」（25.0％）の順になっている。

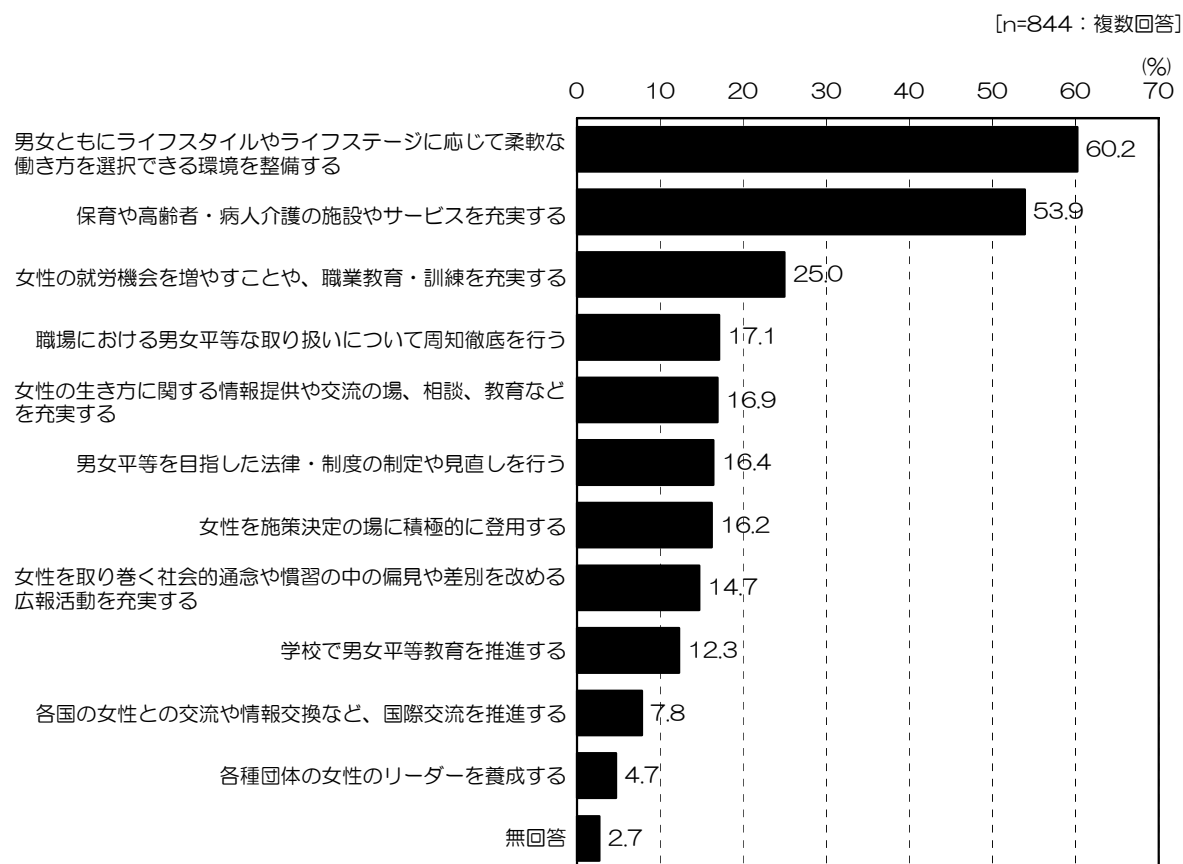


図28 男女平等社会を実現させるために力を入れてほしいこと

【環境美化】について

■環境美化推進地区を知っているか (n=844)

環境美化推進地区について、「知らない」(42.9%)が4割以上を占めている。次いで、「知っている」(32.9%)、「場所は知らないが、聞いたことがある」(23.0%)の順になっている。

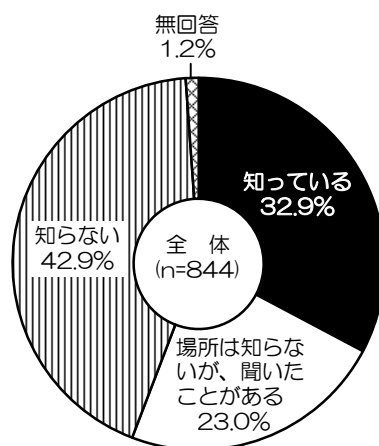


図29 環境美化推進地区を知っているか

■喫煙禁止路線を知っているか (n=844)

喫煙禁止路線について、「知らない」(40.0%)が4割を占めている。次いで、「知っている」(39.2%)、「場所は知らないが、聞いたことがある」(19.7%)の順になっている。

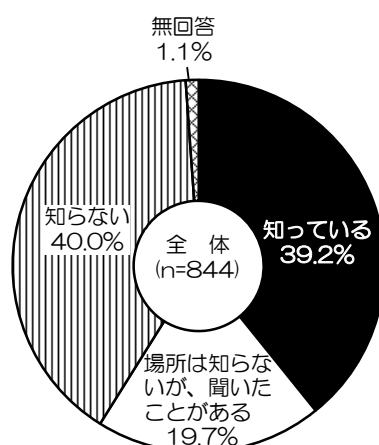


図30 喫煙禁止路線を知っているか

■府中市は環境美化の観点からきれいと思うか（n=844）

府中市は、「きれいだ」（14.5%）、「まあまあきれいだ」（63.9%）を合わせた『きれいだと思う』割合は8割近く（78.4%）を占める。また、「少し汚い」（10.0%）、「汚い」（1.5%）を合わせた『汚いと思う』割合は1割程度（11.5%）にとどまっている。

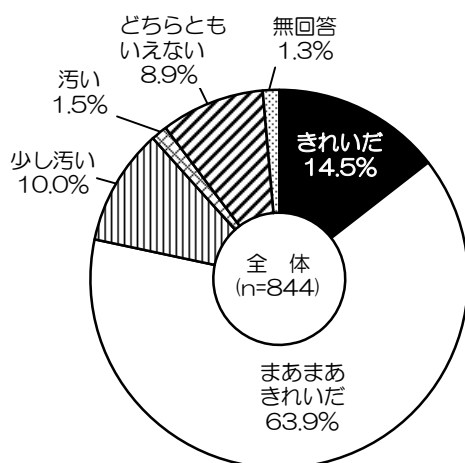


図31 府中市は環境美化の観点からきれいと思うか

■地域や市が開催する清掃活動に参加したことがあるか（n=844）

地域や市が開催する清掃活動への参加について、「参加したことはない」（62.9%）が6割を超えている。次いで、「参加したことがある」（25.1%）、「参加したことはないが今後参加したいと思う」（10.7%）の順になっている。

清掃活動に参加したことのない理由は、「活動自体を知らない」（42.0%）が4割を超えている。次いで、「参加したいが参加する時間がない」（29.8%）、「興味がない」（10.0%）、「参加したいが参加方法がわからない」（7.0%）の順になっている。

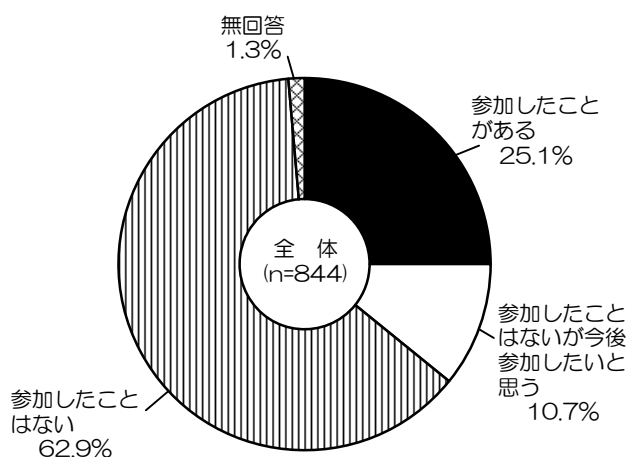


図32 地域や市が開催する清掃活動に参加したことがあるか

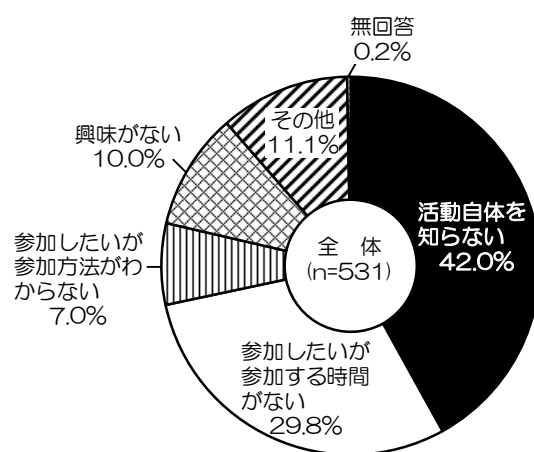


図33 清掃活動に参加したことのない理由

【環境問題に対する取組み】について

■日常生活等における環境に関する取組み（n=844）

環境に関する取組みの中で「取り組んでいる」割合が高い項目は、「レジ袋や過剰包装の辞退、食品トレイを使用しない「ばら売り」や「袋売り」の利用、詰め替え商品の購入に取り組んでいる。」（45.0%）、「食べ残しや消費期限切れ等による廃棄食品の減量、生ごみの堆肥利用などによるごみの減量に取り組んでいる。」（35.9%）、「エアコン温度の設定、シャワーの使用時間の短縮、エコドライブなどの省エネ行動を実践するとともに、省エネナビの活用等による取組効果の見える化に取り組んでいる。」（35.8%）の順になっている。

一方、「まったく取り組んでいない」割合が高い項目は、「馬場大門のケヤキ並木の保全や公園・緑地の清掃・管理に参加している。」（77.7%）、「多摩川・用水路・湧水などの水辺環境や水質の調査、動植物などの自然環境調査に参加している。」（77.3%）、「環境保全活動センターを積極的に活用し、情報収集やイベント等に参加している。」（60.2%）の順になっている。

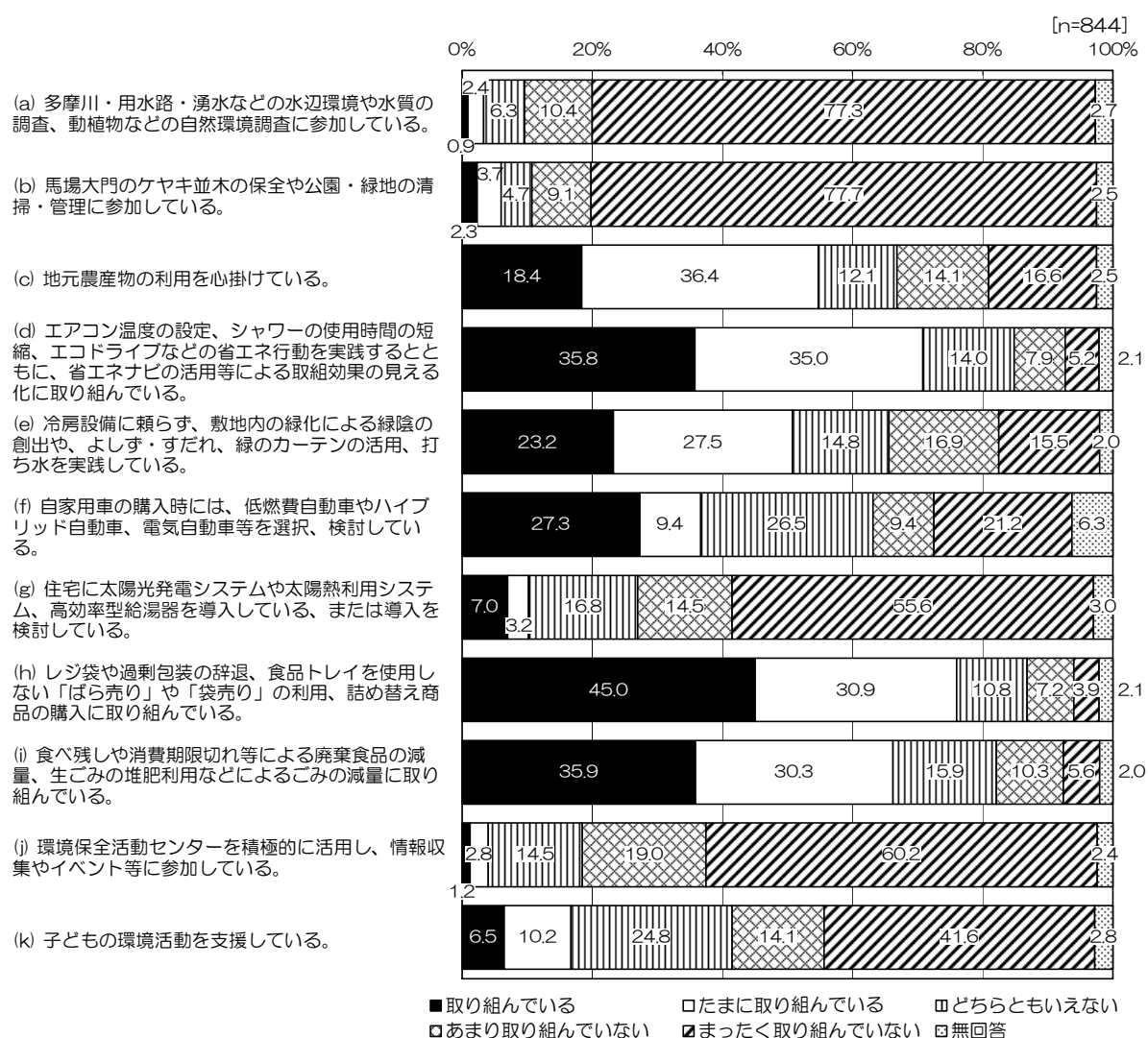


図34 環境に関する取組み

【生物多様性地域戦略】について

■生物多様性を知っているか (n=844)

「生物多様性」という言葉について、「大体の意味は知っている」(33.9%)が最も高い。次いで、「初めて聞いた」(33.2%)、「聞いたことはあるが意味は知らない」(23.9%)の順になっている。

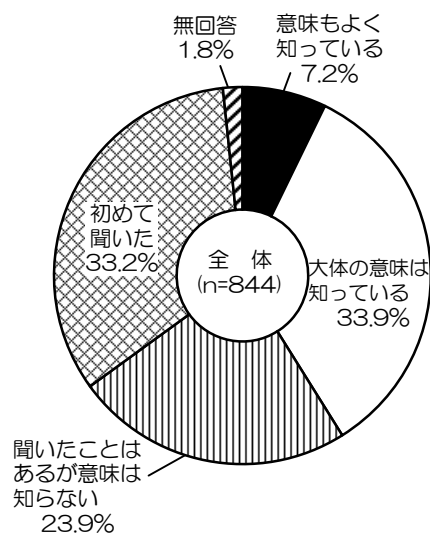


図35 生物多様性を知っているか

■府中を代表する自然は何だと思うか (n=844)

府中を代表する自然について、「馬場大門ケヤキ並木」(33.6%)が3割を超えて最も高い。次いで、「寺社林（大國魂神社・高安寺など）」(15.2%)、「郷土の森公園」(12.9%)、「多摩川」(11.4%)、「府中の森公園」(10.7%)の順になっている。

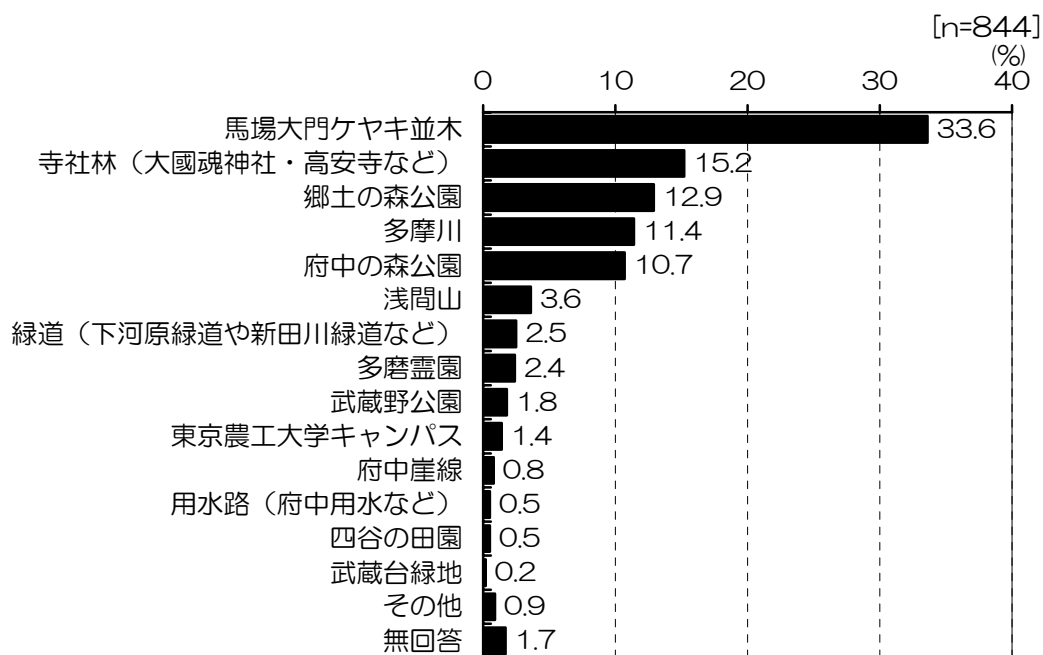


図36 府中を代表する自然

■生物多様性保全活動に参加したいか (n=844)

生物多様性保全活動への参加意識は、「内容によっては参加したい」(33.3%)が3割を超えて最も高い。次いで、「参加したいが参加する時間がない」(17.4%)、「わからない」(16.1%)、「あまり参加したくない」(13.9%)の順になっている。

「既に活動している」(0.5%)と『参加したい』を合わせると6割を超える。

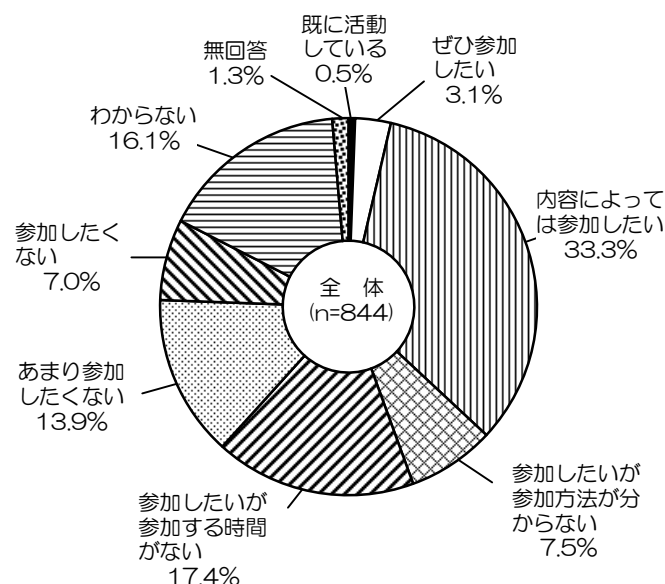


図37 生物多様性保全活動への参加意識

■参加したい生物多様性保全活動 (n=844：複数回答)

参加したい生物多様性保全活動は、「自然観察会」(28.0%)が最も高く、次いで「農業体験」(23.3%)、「緑化活動」(21.9%)、「自然体験活動」(19.3%)、「清掃活動」(13.0%)の順になっている。

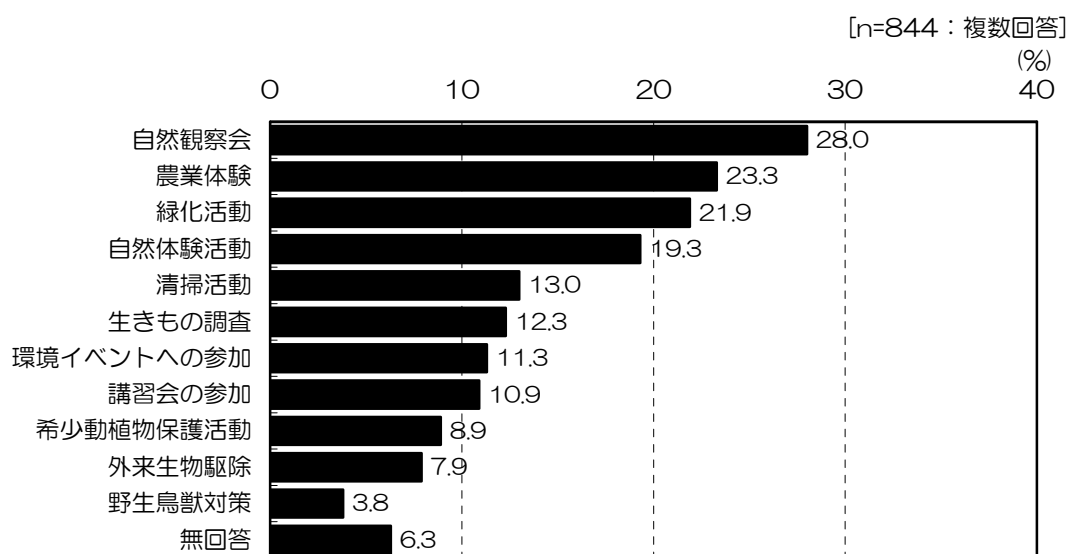


図38 参加したい生物多様性保全活動

【保存樹木制度】について

■保存樹木制度を知っているか (n=844)

保存樹木制度について、「知らない」(48.9%)が半数近くを占めている。次いで、「知っている」(28.1%)、「聞いたことがある」(20.7%)の順になっている。

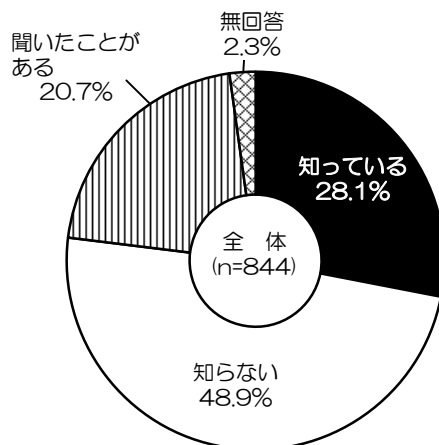


図39 保存樹木制度を知っているか

■「保存樹木奨励金制度」の今後の進め方について (n=844)

「保存樹木奨励金制度」の今後の進め方について、「現状のままでよい」(48.9%)がほぼ半数を占めている。

次いで、「積極的に拡充していくべき」(40.0%)、「縮小していくべき」(4.1%)、「支援をする必要はない」(3.3%)の順になっている。

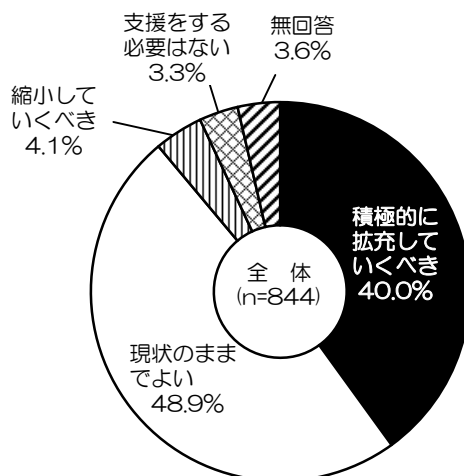


図40 「保存樹木奨励金制度」について

■自宅敷地内の緑化のために推進すべき施策（n=844）

自宅敷地内の緑化のために推進すべき施策は、「樹木を剪定する費用の一部助成」（23.8%）の割合が最も高い。

次いで、「通行人にわかりやすい表示板の掲出」（21.1%）、「樹木の専門家からの助言や情報提供」（20.6%）、「市広報等による緑化推進PR」（18.2%）の順になっている。

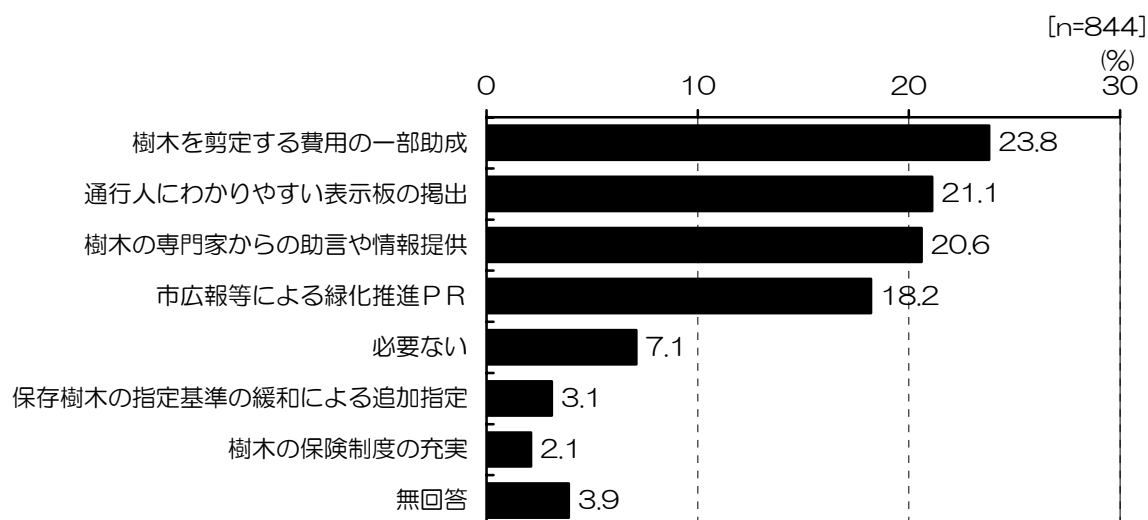


図4-1 自宅敷地内の緑化のために推進すべき施策

第 46 回 市政世論調査（概要版）

平成 26 年 9 月

【発行】府中市政策総務部広報課

東京都府中市宮西町二丁目 24 番地

Tel. 042-366-1711

【実施】株式会社フィールドテクノシステム

東京都調布市仙川町一丁目 16 番地の 1

Tel. 03-3309-3231

